

# 令和2年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：37002

学校名： 陵北中学校

## 改訂のポイント

○「思考力・判断力・表現力」を高め、「対話的な学び」の実現に向けた授業改善を小中一貫して取り組んでいく。

## 項目名 項目内容

## 項目内容の具体

### 目標

「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像

☆主体的に思考・判断・表現し、対話を通して伝え合える子ども（小中一貫で目指す子ども像）

### 「学ぶ力」に関する成果や課題

学ぶ意欲

#### 【昨年度の具体的な取組】

課題を明確化し、話し合いや発表などの表現活動を通して、分かる・できる・楽しい授業を構築する取組

#### 【成果】

○意見の違う人とも、よく話し合おうとしている割合が78.0%と、全市平均を4.9%上回っている。

#### 【課題】

◇勉強していて、おもしろい、楽しいと思うことがよくある割合が、全市平均 67.3%を上回っているが、70.6%にとどまっている。

思考力・判断力・表現力等

#### 【昨年度の具体的な取組】

ユニットなどを活用し、他者との学び合いの中で自らの考えを深め、表現する活動を各教科で行う取組

#### 【成果】

○人の意見を聞いて、それを参考にして自分の考えを見直すことがよくある割合が92.5%と、全市平均を7.7%上回っている。

#### 【課題】

◇授業中、自分の意見を進んで発言する割合が、全市平均 39.3%を上回っているが、42.8%にとどまっている。

基礎的・基本的な知識及び技能

#### 【昨年度の具体的な取組】

家庭学習の意義や方法を各教科で説明し、家庭での計画的な学習習慣の定着を図る取組

#### 【成果】

○新しく習ったことは、くり返し練習をしている割合が64.1%と、全市平均を9.9%上回っている。

#### 【課題】

◇普段から計画的に学習している割合が、全市平均 34.8%を上回っているが、41.2%にとどまっている。

### 今年度の具体的な改善策（取組）

取組の最重点

#### 【取組の共有】

「思考力・判断力・表現力」を高め、対話を生み出すノート指導

具体的な改善策（取組）

- 「コーネル・メソッド」を活用したノート指導を通して、「思考力・判断力・表現力」の育成に取り組む。
- 意味理解を伴った知識の習得により、基礎・基本の確実な定着を図る。
- 課題探究的な学習を取り入れるとともに、言語活動や体験的な活動を充実させ、「授業づくりの『6つのセルフチェック』」を意識した授業を展開することで、知識や技能を活用する力を伸ばす。
- 学習形態（一斉、ユニット、交流）を工夫し、「自ら学ぶ方法」と「人と学び合う方法」を身に付けさせる。小集団での意見交流や全体での発表活動を通して、自分の考えを表現し、対話を通して伝え合う力を育む。
- T・Tや少人数指導の活用による個に応じた指導を行い、生徒が分かる・できる喜びを実感できるようにする。

### 検証の方法

各種調査や子どもの自己評価指標の活用

- 「全国学力・学習状況調査」や「学校評価アンケート」等の活用
- 「学力向上プログラム WAT 観点・領域別達成度検査」の活用
- 札幌市全体の共通指標（「子どもの自己評価」）の活用